

健康科学部 看護学科
卒業単位数一覧

区分	科目区分	構成授業科目	修得すべき単位数	
I	現代文明論	現代文明論	4 単位	
II	現代教養科目	文理共通科目	6 単位	
		体育科目	2 単位	
III	英語コミュニケーション科目	英語コミュニケーション科目	8 単位	
IV	主専攻科目	必修科目	98 単位	
		選択科目	学部共通科目	0 単位
			学科開講科目	6 単位
V	自己形成科目	主専攻発展科目	0 単位	
		全学共通科目		
		他学部・他学科科目		
		副専攻・特定プログラム科目		
		区分 II～IV の余剰科目		
卒業単位数			124 単位	
VI	卒業単位に含まれない科目		0 単位	

カリキュラム・ポリシー

全学共通	「大学として育成する人材像」	自ら考え、集い、挑み、成し遂げる力を持った人材	
	「授業で育成する力・スキル」	1	自ら考える力 (学習力) (思考力) (探求力)
		2	集い力 (コミュニケーション力) (関係構築力) (アイデンティティ獲得)
		3	挑み力 (問題発見力) (構想力) (プランニング力)
		4	成し遂げ力 (工程管理力) (実行と継続力) (分析と修正力)

学部・センター	「学部・センターの育成する人材像」	保健・医療・福祉の専門職として、暖かい人間性と幅広い教養を身につけ、人権擁護を基盤としたヒューマンケアが実施できる人材	
	「授業で育成する力・スキル」	1	人間と社会／環境の理解 身体的、心理的、社会的、霊的な存在としての人間と取り巻く社会システム等の理解
		2	健康の理解 個人、環境（生活）、社会からの健康理解
		3	ヒューマンケアの実践 倫理的、法的、社会的判断に基づいたヒューマンケアの実践

学 科	「学科の育成する人材像」	その人らしい健康的な生活を大切にする看護職者	
	「授業で育成する力・スキル」	1	コミュニケーション能力 ケアの対象者や協働する専門職者と、建設的関係を創る能力
		2	健康維持増進支援能力 個人、家族、地域の健康状態を評価し、健康を維持増進する力
		3	生活支援能力 健康障害が及ぼす生活上の問題を評価し、健康回復に向けた支援とその人らしい生活を支援する力

2014年度 健康科学部 区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ カリキュラム表

区分・科目区分	構成授業科目	グレード No.	授業科目名	必選別	単位数	開講期間 (1週当たりのコマ数)				先修条件 ①科目先修条件 ②セメスター先修条件 ③単位数先修条件	備考
						春学期	サセマシヨ	秋学期	ウセインシタヨ		
						期	ン	期	ン		
Ⅰ 現代文明論	現代文明論	I 100	現代文明論 1	○	2	1		1			
		I 100	現代文明論 2	○	2	1		1			
Ⅱ 現代教養科目	文理共通科目	II 100	生命と環境	×	2	1		1			
		II 100	文化と自然	×	2	1		1			
		II 100	構造と変化	×	2	1		1			
		II 100	アイデンティティと共生	×	2	1		1			
		II 100	知識とコミュニケーション	×	2	1		1			
		II 100	テクノロジーと社会	×	2	1		1			
	体育科目	II 100	健康・フィットネス理論実習	○	1	1		1			
		II 100	生涯スポーツ理論実習	○	1	1		1			
Ⅲ 英語コミュニケーション科目	英語コミュニケーション科目	III 200	英語リスニング&スピーキング1	○	2	2		2			
		III 200	英語リーディング&ライティング1	○	2	2		2			
		III 200	英語リスニング&スピーキング2	○	2	2		2			
		III 200	英語リーディング&ライティング2	○	2	2		2			

カリキュラム・マップ (授業で育成する力・スキル)

全学共通				授業科目名
自ら考える力	集い力	挑み力	成し遂げ力	
(学習力) (思考力) (探求力)	(コミュニケーション力) (関係構築力) (アイデンティティ獲得)	(問題発見力) (構想力) (プランニング力)	(工程管理力) (実行と継続力) (分析と修正力)	
○		○		現代文明論 1
○	○			現代文明論 2
○				生命と環境
○				文化と自然
○				構造と変化
○				アイデンティティと共生
○				知識とコミュニケーション
○				テクノロジーと社会
○	○			健康・フィットネス理論実習
○		○		生涯スポーツ理論実習
○		○	○	英語リスニング&スピーキング 1
○		○	○	英語リーディング&ライティング 1
○		○	○	英語リスニング&スピーキング 2
○		○	○	英語リーディング&ライティング 2

2014年度 健康科学部 区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 留学生カリキュラム表

区分・科目区分	構成授業科目	グレード No.	授業科目名	必選別	単位数	開講期間 (1週当たりのコマ数)				先修条件 ①科目先修条件 ②セメスター先修条件 ③単位数先修条件	備考
						春学期	サセマシヨ	秋学期	ウセインシタヨ		
						期	ン	期	ン		
Ⅱ 現代教養科目	文理共通科目	II 100	日本語 1	×	2	2		2			
		II 100	日本語 2	×	2	2		2			
		II 200	日本語 3	×	2			1			
		II 100	日本の文化・社会	×	2	1					
		II 100	世界と日本	×	2			1			
	備考		前表「健康科学部 区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ カリキュラム表」区分Ⅱ 現代教養科目：文理共通科目 6科目に上記5科目を加え、11教科のうち6単位を修得すること。								

カリキュラム・マップ (授業で育成する力・スキル)

全学共通				授業科目名
自ら考える力	集い力	挑み力	成し遂げ力	
(学習力) (思考力) (探求力)	(コミュニケーション力) (関係構築力) (アイデンティティ獲得)	(問題発見力) (構想力) (プランニング力)	(工程管理力) (実行と継続力) (分析と修正力)	
	○		○	日本語 1
○		○		日本語 2
○			○	日本語 3
○		○		日本の文化・社会
○	○			世界と日本

2014年度 健康科学部 看護学科 カリキュラム表

No.1

科 学 目 区 分	グ レ ー ド No.	授 業 科 目 名	必 選 別	単 位 数	開講期間 (1週当たりのコマ数)				先修条件 ①科目先修条件 ② Semester先修条件 ③単位数先修条件	備 考	他 学 科 生 受 講 (注1)	副 専 攻 科 目 指 定	特 定 プ ロ グ ラ ム
					春 学 期	サ セ ッ マ シ ヨ ン	秋 学 期	ウ セ イ ン シ ヨ ン					
					①科目先修条件 ② Semester先修条件 ③単位数先修条件								
人 間	IV100	コミュニケーション論	○	1	0.5								
	IV100	表現技法の基礎	○	1	0.5								
	IV100	人間関係論	○	2	1								
	IV100	人体の構造と機能1(細胞生物学)	○	2	同1.5				否				
	IV100	人体の構造と機能2(解剖生理学)	○	2			同2		否				
	IV100	看護留学英語	×	1	1								
	IV200	人間工学	×	1			0.5						
	IV200	保健医療行動学	×	1			7.5 ²⁾						
	健 康	IV100	健康科学論	○	1	0.5		0.5					
		IV100	看護の基礎理科	○	1	0.5							
IV100		栄養と代謝	○	1	1								
IV200		健康障害と栄養	○	1			0.5		否				
IV200		公衆衛生学	○	2			1		否				
IV100		感染と防御	○	2	同1.5				否				
IV100		薬理学	○	2			同1.5		否				
IV200		臨床病態学A(皮膚・運動器・麻酔)	○	1	1				否				
IV200		臨床病態学B(病理・呼吸・循環・消化器)	○	2	同1.5				否				
IV200		臨床病態学C(神経・泌尿器・血液・感覚器)	○	2			同1.5		否				
主 専 攻 科 目	IV200	保健医療福祉行政論	○	1	0.5								
	IV100	保健医療情報学1(情報科学)	○	1	1								
	IV200	保健医療情報学2(医療統計)	○	1			1		否				
	IV200	保健医療関係法規	○	1	0.5								
	IV200	社会保障論	○	1	0.5								
	IV100	生活環境論	×	2	1								
	IV200	社会福祉論	×	2	1								
	IV200	疫学	×	2	1				否				
	IV200	臨床工学	×	1			7.5 ²⁾						
	社 会 ／ 環 境	IV200	看護基礎理論	○	2	1				否			
IV200		看護コミュニケーション論	○	1			1		否				
IV201		看護過程とヘルスアセスメント	○	1			1		否				
IV200		ヘルスアセスメント	○	2	同1.5				否				
IV202		看護基礎技術演習	○	2			同2		否				
IV200		生涯発達論	○	1	1								
IV200		リハビリテーション看護論	○	1	1				否				
IV200		子育て援助論	○	2			同1.5						
日 常 生 活 支 援		IV200	看護基礎理論	○	2	1				否			
	IV200	看護コミュニケーション論	○	1			1		否				
	IV201	看護過程とヘルスアセスメント	○	1			1		否				
	IV200	ヘルスアセスメント	○	2	同1.5				否				
	IV202	看護基礎技術演習	○	2			同2		否				
	IV200	生涯発達論	○	1	1								
	IV200	リハビリテーション看護論	○	1	1				否				
	IV200	子育て援助論	○	2			同1.5						

(注1) 「否」印がついている科目は、他学科の学生は受講することができません。

(注2) 学期内集中科目です。

カリキュラム・マップ (授業で育成する力・スキル)

全学共通				健康科学部			看護学科			授 業 科 目 名
自ら考える力	集い力	挑み力	成し遂げ力	人間と社会／ 環境の理解	健康の理解	ヒューマンケ アの実践	コミュニケー ション能力	健康維持増進 支援能力	生活支援能力	
(学 習 力) (思 考 力) (探 求 力)	(コミュニ ケー ション 力) (関 係 構 築 力) (アイ デン テ ィ 獲 得)	(問題 発 見 力) (構 想 力) (プ ラ ン ニ ン グ 力)	(工 程 管 理 力) (実 行 と 継 続 力) (分 析 と 修 正 力)	身体的、心理 的、社会的、 霊的な存在と しての人間と 取り巻く社会 システム等の 理解	個人、環境(生 活)、社会か らの健康理解	倫理的、法的、 社会的判断に 基づいたヒ ューマンケア の実践	ケアの対象者 や協働する専 門職者と、建 設的關係を創 る能力	個人、家族、 地域の健康状 態を評価し、 健康を維持増 進する力	健康障害が及 ぼす生活上の 問題を評価し、 健康回復に向 けた支援とその 人らしい生活 を支援する力	
	○			○			○			コミュニケーション論
○				○			○			表現技法の基礎
	○			○			○			人間関係論
○				○				○		人体の構造と機能1(細胞生物学)
○				○	○			○		人体の構造と機能2(解剖生理学)
		○		○			○			看護留学英語
○		○		○				○	○	人間工学
○		○			○			○		保健医療行動学
○		○			○					健康科学論
○					○			○		看護の基礎理科
○					○			○		栄養と代謝
○					○	○		○	○	健康障害と栄養
○					○			○		公衆衛生学
○					○			○		感染と防御
○					○				○	薬理学
○					○			○	○	臨床病態学A(皮膚・運動器・麻酔)
○					○			○	○	臨床病態学B(病理・呼吸・循環・消化器)
○					○			○	○	臨床病態学C(神経・泌尿器・血液・感覚器)
○				○		○		○	○	保健医療福祉行政論
○				○				○		保健医療情報学1(情報科学)
○				○				○		保健医療情報学2(医療統計)
○				○				○	○	保健医療関係法規
○				○					○	社会保障論
○				○					○	生活環境論
○				○					○	社会福祉論
○				○	○			○		疫学
○		○		○	○				○	臨床工学
○					○	○		○	○	看護基礎理論
	○			○		○		○		看護コミュニケーション論
○		○		○		○		○		看護過程とヘルスアセスメント
○		○		○		○		○		ヘルスアセスメント
○		○		○		○		○		看護基礎技術演習
○				○		○		○		生涯発達論
○		○				○		○	○	リハビリテーション看護論
○		○				○		○	○	子育て援助論

2014年度 健康科学部 看護学科 カリキュラム表

No. 2

科 学 目 区 分	学 科 目 No.	授 業 科 目 名	必 選 別	単 位 数	開講期間 (1週当たりのコマ数)				先修条件 ①科目先修条件 ②セメスター先修条件 ③単位数先修条件	備 考	他 学 科 生 受 講 (注1)	副 専 攻 科 目 指 定	特 定 プ ロ グ ラ ム
					春 学 期	サ セ ッ マ シ ヨ ン	秋 学 期	ウ セ イ ツ シ ン タ ヨ ン					
IV 主 専 攻 科 目	日常生活支援	IV200	こころの健康と看護	○	1			0.5					
		IV200	看護基礎実習1(看護の対象理解)	○	1				22.5		否		
		IV203	看護基礎実習2(生活援助)	○	2		45			①IV201とIV202	否		
		IV300	小児看護学実習1(健康な小児の看護)	○	1		22.5 ²⁾		22.5 ²⁾		否		
	療養生活支援	IV200	臨床看護技術演習1(治療・処置)	○	2	同2					否		
		IV200	臨床看護技術演習2(薬物療法・検査)	○	1			1			否		
		IV211	クリティカルケア論	○	2			同2			否		
		IV212	慢性期看護論	○	2	同1.5					否		
		IV222	老年看護学	○	2	同1.5					否		
		IV200	ターミナルケア論	○	1		7.5 ²⁾				否		
		IV241	小児看護学	○	2	同1.5					否		
		IV232	精神看護学	○	2	同1.5					否		
		IV262	在宅看護学概論	○	2			1			否		
		IV263	在宅看護援助論	○	2	1					否		
		IV315	成人看護学実習A(専門的ケアを受ける成人の看護)	○	1		22.5 ²⁾		22.5 ²⁾	①IV211とIV212	否		
		IV316	成人看護学実習B(健康障害を持つ成人の看護)	○	5		112.5 ²⁾		112.5 ²⁾	①IV211とIV212	否		
		IV325	老年看護学実習A(健康障害を持つ老人の看護)	○	3		67.5 ²⁾		67.5 ²⁾	①IV222	否		
		IV326	老年看護学実習B(施設で生活する老人の看護)	○	1		22.5 ²⁾		22.5 ²⁾	①IV222	否		
		IV345	小児看護学実習2(健康障害を持つ小児の看護)	○	1		22.5 ²⁾		22.5 ²⁾	①IV241	否		
		IV335	精神看護学実習	○	2		45 ²⁾		45 ²⁾	①IV232	否		
IV366	在宅看護学実習	○	2		45 ²⁾		45 ²⁾	①IV262とIV263	否				
健康維持増進支援	IV200	生涯発達看護論	○	2			同1.5			否			
	IV251	母性看護学	○	2	同1.5					否			
	IV200	地域精神保健福祉と看護	○	1	0.5					否			
	IV200	健康教育学	○	2			1			否			
	IV200	家族看護学	○	1			0.5						
	IV200	公衆衛生看護学概論	○	2	1					否			
	IV261	行政保健師活動論	○	2	1					否			
	IV200	公衆衛生看護技術論	×	2		15 ²⁾				否			
	IV260	産業保健看護学	×	2	1					否			
	IV355	母性看護学実習	○	2		45 ²⁾		45 ²⁾	①IV251	否			
	IV364	産業保健看護学実習	×	1		22.5 ²⁾		22.5 ²⁾	①IV260	否			
	IV365	行政保健師実習	×	4		90 ²⁾		90 ²⁾	①IV261	否			

(注1) 「否」印がついている科目は、他学科の学生は受講することができません。

(注2) 学期内集中科目です。

カリキュラム・マップ (授業で育成する力・スキル)

全学共通				健康科学部			看護学科			授 業 科 目 名
自ら考える力	集い力	挑み力	成し遂げ力	人間と社会/ 環境の理解	健康の理解	ヒューマンケ アの実践	コミュニケー ション能力	健康維持増進 支援能力	生活支援能力	
(学 習 力) (思 考 力) (探 求 力)	(コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 力) (関 係 構 築 力) (ア イ デ ン テ イ ティ 獲 得)	(問 題 発 見 力) (構 想 力) (プ ラ ン ニ ン グ 力)	(工 程 管 理 力) (実 行 と 継 続 力) (分 析 と 修 正 力)	身 体 的 、 心 理 的 、 社 会 的 、 霊 的 な 存 在 と し て の 人 間 と 取 り 巻 く 社 会 シ ス テ ム 等 の 理 解	個 人 、 環 境 (生 活) 、 社 会 か ら の 健 康 理 解	倫 理 的 、 法 的 、 社 会 的 判 断 に 基 づ い た ヒ ュ ー マ ン ケ ア の 実 践	ケ ア の 対 象 者 や 協 働 す る 専 門 職 者 と 、 建 設 的 関 係 を 創 る 能 力	個 人 、 家 族 、 地 域 の 健 康 状 態 を 評 価 し 、 健 康 を 維 持 増 進 す る 力	健 康 障 害 が 及 ぼ す 生 活 上 の 問 題 を 評 価 し 、 健 康 回 復 に 向 け た 支 援 と そ の 人 ら しい 生 活 を 支 援 す る 力	
○	○			○	○		○	○		こころの健康と看護
○	○	○		○	○		○			看護基礎実習1(看護の対象理解)
○	○	○	○	○	○	○	○		○	看護基礎実習2(生活援助)
	○	○			○	○	○		○	小児看護学実習1(健康な小児の看護)
○	○		○		○	○			○	臨床看護技術演習1(治療・処置)
○	○		○		○	○	○		○	臨床看護技術演習2(薬物療法・検査)
○	○			○	○			○	○	クリティカルケア論
○	○		○		○	○	○		○	慢性期看護論
○		○	○		○	○	○		○	老年看護学
○		○	○		○	○			○	ターミナルケア論
○		○	○		○	○		○	○	小児看護学
○	○				○	○	○		○	精神看護学
○					○	○	○		○	在宅看護学概論
○			○		○	○	○		○	在宅看護援助論
	○	○				○	○		○	成人看護学実習A(専門的ケアを受ける成人の看護)
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	成人看護学実習B(健康障害を持つ成人の看護)
	○	○	○	○		○	○	○	○	老年看護学実習A(健康障害を持つ老人の看護)
	○	○	○	○		○	○	○	○	老年看護学実習B(施設で生活する老人の看護)
	○	○	○	○		○	○	○	○	小児看護学実習2(健康障害を持つ小児の看護)
	○	○	○	○		○	○	○	○	精神看護学実習
	○	○	○	○		○	○	○	○	在宅看護学実習
○		○	○	○	○	○			○	生涯発達看護論
○		○			○	○			○	母性看護学
○		○			○				○	地域精神保健福祉と看護
	○	○	○			○	○			健康教育学
○					○				○	家族看護学
○					○	○	○			公衆衛生看護学概論
○					○	○				行政保健師活動論
○		○	○	○	○	○		○		公衆衛生看護技術論
○					○	○	○			産業保健看護学
	○	○	○	○		○	○	○	○	母性看護学実習
	○	○	○	○	○	○		○	○	産業保健看護学実習
	○	○	○	○	○	○		○	○	行政保健師実習

